

2023年度中学入試結果

安田学園入試広報部

部長 藤村 高史

3・4科

試験日	募集人数			出願者		受験者		合格者		倍率	合格最低点
2/1 AM	20名	4科	男	138	230	107	178	48	83	2.1	190/300 (63%)
			女	80		60		32			
		英語選択	男	6		5		1			
			女	6		6		2			
2/1 PM	35名	4科	男	231	381	196	319	83	124	2.6	177/300 (59%)
			女	135		111		36			
		英語選択	男	9		8		4			
			女	6		4		1			
2/2 AM	10名	4科	男	158	270	82	140	15	28	5.0	200/300 (67%)
			女	101		52		12			
		英語選択	男	6		3		0			
			女	5		3		1			
2/2 PM	20名	4科	男	242	388	106	167	18	25	6.7	191/300 (64%)
			女	132		54		7			
		英語選択	男	8		4		0			
			女	6		3		0			
2/3 AM	5名	4科	男	182	312	67	110	9	14	7.9	186/300 (62%)
			女	118		39		4			
		英語選択	男	8		1		0			
			女	4		3		1			

適性検査型

試験日	募集人数	適性	出願者		受験者		合格者		倍率	合格最低点	
			男	女	男	女	男	女			
2/1 AM	45名	適性	男	220	457	男	213	男	90	2.4	192/300 (64%)
			女	237		女	235	女	97		
2/2 AM	40名	適性	男	177	381	男	163	男	57	2.7	190/300 (63%)
			女	204		女	187	女	74		
2/4 AM	5名	適性	男	146	318	男	67	男	12	7.8	190/300 (63%)
			女	172		女	73	女	6		

2023年度入試を振り返って (3・4科)

教科	対策
国語	<ol style="list-style-type: none">1. 漢字は落とさないように、日ごろから頻出語を中心に学習しましょう。2. 記述の文末不備(理由を聞かれているのに「こと」で結ぶ)が少なからずありました。3. 字は丁寧に書きましょう。判読不可能で×にした箇所がありました。
算数	計算問題はほとんどの受験生が正解しますので、ミスなく確実に解けるようにしましょう。面積や体積の問題も円周率による計算ミスで差がつきやすいので注意が必要です。普段からできる限り計算を工夫して慣れておくことが重要です。
理科	生物分野、化学分野、物理分野からまんべんなく出題されます。理科用語の穴埋め問題はよく解答できていました。一方で、テーマとなる科学現象について文章で説明する問題や化学・物理分野の計算問題で失点が見られました。記述力と計算力の向上がポイントです。
社会	地理分野、歴史分野、公民分野からまんべんなく出題されますが、若干歴史分野が多めです。今年度の入試では、漢字ミスによるもったいない失点が目立ちました。用語の意味とともに、正確に漢字を書けるように受験勉強を頑張ってください。
英語	英語の入試は英検3級から4級のレベルとなります。英検問題集の演習も十分対策となります。ただし、大問1は英単語を書く問となりますので、綴りの練習も必須です。また30語程度での英作文もありますので、自分の考えを理由とともに文章で書けるようにしっかり準備してください！

2023年度入試を振り返って(適性検査)

検査		対策
適性Ⅰ		まずは課題文の内容を正確に捉える力を養うことが大切です。その上で、課題文と関連付けながら自分の意見を書く練習をしましょう。(日頃から様々なこと【ニュース、読んだ本など】に対し、自分の意見をもつ習慣をつけておきましょう。)
適性Ⅱ	算数	問題文を正確に読み取り、実験や試行した結果を聞く問題が多く出題されています。少ない回数の際に、実際に試してみても規則性をつかむことが大切です。記述では、どうしてそうなるのかを、読み手に伝わるように書いてください。
	社会	データを読み取ったうえで、自身の考えを述べる問題が多く出題されます。今年度の入試では、読み取ったポイントは適切であるものの、日本語の文章として不適切な答案が目立ちました。答案を書く際、ただ読み取ったポイントを詰め込むのではなく、読み手に伝わる文章を心がけましょう。
	理科	実験データを読み取り、その結果からどのような規則性が見えてくるのか、その結果から何が言えるのか、どのようなことが起きているのかを、道筋立てて説明できるかどうかのカギとなります。表や図、グラフの結果を正しく読み取る練習を重ねていくといいでしょう。
適性Ⅲ		問題文を正確に読み取り、実験や試行した結果を聞く問題が多く出題されています。少ない回数の際に、実際に試してみても規則性をつかむことが大切です。記述では、どうしてそうなるのかを、読み手に伝わるように書いてください。